

基本方向A「文化創造の基盤づくり」

①「芸術文化を創造する人材、支える人材の育成・支援の充実」

事業名	実績・評価
<p>芸術活動振興事業 助成金</p>	<p>(事業実績など) ・H28年度実施分(年間) 申請件数183件 採択件数：特別助成24件・一般助成127件 ・H29年度実施分(上期) 申請件数132件</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 申請件数が増えたが、さらに周知を図るため、継続して助成制度のPRをするべき。一般助成のあり方を検証してみようか。</p>
<p>芸術文化魅力育成 プロジェクト</p>	<p>(事業実績など) ・プロデューサー育成人数：6人 ・「Osaka New Producer's showcase (ONPS「オンプス」)」 プレイベント(H28.10) メインプログラム(H28.12~H29.3) 「GALA-MORTAL COMBAT DANCE LIVE」など5プログラム</p> <p>・来場者数(合計)：約26,000人 ・事業改善の取組み：アーツカウンシルの支援チームによる育成サポート</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) ストリートダンスという新たな分野を大阪らしい文化として発信する事業となった。 行政側の課題もあるが、前年度事業検証を基に一部事業の改善が図れている。引き続き検証をすすめ、平成29年度事業に反映する必要がある。</p>
<p>咲くやこの花賞 受賞者等支援事業 咲くやこの花賞</p>	<p>(咲くやこの花賞受賞者等支援事業実績など) ・「咲くやこの花コレクション」全5回 豊澤雛文 女義太夫を楽しむ会(H28.7.15 大阪倶楽部ホール)ほか4プログラム ・「咲くやこの花芸術祭」 H28.12.2~12.3 (2日間) 大阪市中央公会堂 6プログラム</p> <p>(咲くやこの花賞実績など) ・贈呈式：H29.2.27 大阪市中央公会堂 ・受賞者：(美術部門：現代美術)大崎のぶゆき (音楽部門：鍵盤楽器)高田泰治 (演劇・舞踊部門：文楽・人形遣い)吉田養紫郎 (大衆芸能：落語)桂佐ん吉 (文芸その他部門：作家)門井慶喜</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 若手アーティストに贈る賞として歴史を持ち、初期の受賞者は各分野で中心的存在になっている。受賞者に賞の価値をどう感じてもらい、支援していくかが課題。支援事業において、公演の特色など効果的な発信をめざして欲しい。</p>
<p>大阪文化賞 大阪文化祭賞</p>	<p>(大阪文化賞実績など) ・受賞者：森村 泰昌 ・授賞式：H29.2.13 大阪府庁</p> <p>(大阪文化祭賞実績など) ・受賞者 大阪文化祭賞最優秀賞：小栗まち絵 いずみシンフォニエッタ大阪 第37回定期演奏会における演奏 大阪文化祭賞優秀賞：「妹背山婦女庭訓」出演者一同、MONO 大阪文化祭賞奨励賞：片岡松十郎・片岡千壽・片岡千次郎、大阪女優の会、地主薫バレエ団 奥村唯、関西歌劇団 ・授賞式：H29.2.21 リーガロイヤルNCB</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 新たな審査員による審査(大阪文化賞)や選考対象の変更(大阪文化祭賞)など事業の見直しをし、受賞者の幅が広がっている。受賞後の支援について検討してはどうか。</p>
<p>三好達治賞</p>	<p>(事業実績など) ・贈呈式：H29.3.24 大阪市中央公会堂 ・受賞者：大橋 政人 ・選考対象作品数：147作品(応募件数97作品)</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 詩の文化を市民に広げる機会として活用してほしい。</p>

<p>織田作之助賞</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 贈呈式 H29.3.6 綿業会館 受賞者及び受賞作品 織田作之助賞：崔 実 『ジニのパズル』 織田作之助青春賞：中野 美月「プリズム（発表時「海をわたる」に改題）」 織田作之助U-18賞：浅田 紗希「思い出屋と私」 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>近年、著名作家の受賞が続き、注目度が高い。審査員の顔ぶれも充実している。民間との協働により、大阪を代表する文学賞として発信にさらに力を入れてほしい。</p>
<p>舞台鑑賞会 (オーケストラ)</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Enjoy! オーケストラ～オペラの名曲でみるクラシックの愉しみ～」 (H29.2.9 ザ・シンフォニーホール) 来場者数：約1,500人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>他都市の同種の事例などをもとに、より効果的な事業内容を検討してはどうか。</p>
<p>舞台鑑賞会 (能・狂言・上方芸能)</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 能狂言 「こどもと楽しむ能狂言」H29.2.14 大阪能楽会館 「初心者のための能狂言」H29.2.28 大槻能楽堂 上方芸能 「繁昌亭・春休み こどもらくご教室」H29.3.18・H29.3.25 繁昌亭 「繁昌亭・春休み こどもらくご教室（上級編）」H29.3.26 繁昌亭 「大人のためのはじめての寄席 繁昌亭夜席」H29.3.18 繁昌亭 来場者数（合計）：約1,800人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>—</p>

②「芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成」

事業名	実績・評価
<p>青少年芸術体験事業</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文楽 実施校数：8校（小学校6校・中学校2校） 能狂言 実施校数：8校（小学校7校・中学校1校） 歌舞伎 実施校数：8校（小学校5校・中学校3校） <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>平成26年度から古典芸能のみだが、他の分野での事業実施も検討する視点が必要。</p>
<p>中学生が参加する コンサート</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「はじめましてオーケストラ」(H29.3.20 ザ・シンフォニーホール) 参加中学生数：458人（15校） 来場者数：約1,100人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>吹奏楽部の中学生がオーケストラと一緒に演奏するという能動的な体験に関する事業効果の検証が必要。</p>

④「貴重な文化資源の保護・保存・継承」

事業名	実績・評価
<p>文楽を中心とした 古典芸能振興事業</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文楽公演「中之島文楽」(H28.8.25 大阪市中央公会堂 来場者数：約1,400人)、展示イベント、ミニ公演など 来場者数（合計）：約19,000人 来場者へのアンケート結果：「次は文楽劇場で文楽を鑑賞したい」と回答した人数約90% その他：国立文楽劇場との連携（各種事業実施時における劇場公演のPRなど） <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>「中之島文楽」は2公演が完売、2年目にして定着した感がある。より効果的な事業実施に向けて、次年度の事業構成（公演、展示、まちかどでの無料公演）の検証が必要。</p>

<p>舞台鑑賞会 〔中高生のための文楽〕 夏休み親子ペア文楽</p>	<p>(事業実績など) <ul style="list-style-type: none"> ・中高生のための文楽鑑賞教室 H28.6 国立文楽劇場 参加者数：約3,400人(30校) ・夏休み文楽特別公演「親子劇場」 H28.7.23～H28.8.9 国立文楽劇場 参加者数：約2,600人 </p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 文学鑑賞教室は、応募校が増加している。ひきつづき鑑賞機会の提供に努めてほしい。</p>
--	---

⑤「芸術文化活動を支える寄附文化の醸成」

事業名	実績・評価
<p>芸術・文化団体 サポート事業</p>	<p>(事業実績など) <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度実施分 対象団体：19団体 寄付金額：16,774千円(252件) ・H29年度実施分 対象団体(H29.2募集)：22団体 </p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 寄付のアピールは各団体が行き、市は事業全体や制度面のPRに力を入れるという分担がかみ合えば効果的だろう。</p>

基本方向B「都市のための文化」

②「芸術文化の魅力、観光資源及び経済の活性化に活用」

事業名	実績・評価
<p>アジア映画祭</p>	<p>(事業実績など) <ul style="list-style-type: none"> ・アジア映画祭(開催期間：H29.3.3～3.12) 上映作品数：58作品(19の国と地域の作品) ・開催会場：梅田ブルグ、ABCホール、国立国際美術館 ほか ・シネアスト・オーガニゼーション大阪(CO2) 作品制作助成件数：3名 ワークショップ：「1分映画作成ワークショップ」・「こども映画列車」・「8ミリ映画列車」ほか </p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) アジア映画ファンには定着した感がある。今年度の新たな取組み(プレスセンター設置など)の効果を検証していく必要がある。また、現在検討されている次年度以降の人材育成事業の取組みにも注視したい。</p>

③「都市全体を活用した芸術文化活動の展開」

事業名	実績・評価
<p>大阪クラシック</p>	<p>(事業実績など) <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：H28.9.11～9.17 ・主な会場：大阪市中央公会堂・フェスティバルホール・御堂筋や中之島地区のオフィスビルのロビー 等 ・出演楽団：大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団 Osaka Shion Wind Orchestra </p> <p>公演数：81公演 来場者数(合計)：約47,000人</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 現在、大阪市が主催する文化事業の中では、市の看板になりうる事業。「みんなの大阪クラシック」といえる内容をめざしてほしい。今後は新たな層の認知度を高めることも目標としてはどうか。</p>
<p>野外演劇 フェスティバル</p>	<p>(事業実績など) <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 H28.4～H28.10 ・参加団体数 3団体 ・開催場所 3か所(南天満浜公園、大阪城公園、扇町公園) </p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 平成28年度の参加は3団体で開催時期も分散した。参加希望団体は年々減っており、大阪の演劇関係者の認知度も低い。再構築するか、撤退するか、市が判断する時期にきている。</p>

基本方向C「社会のための文化」

①「教育、福祉、まちづくり等あらゆる施策分野への活用」

事業名	
地域等における 芸術活動促進事業	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートプロジェクト事業 地域でのワークショップ実施回数：全4回 アーティスト等による成果報告会等 ・アーツサポート事業 アーティスト相談事業・HP「大阪芸術事情」の作成・フォーラム等4回開催※アートプロジェクト事業と連携 ・報道実績：8回 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>平成28年度が2年目。今年はこれまでの市の文化事業とは異なる発想・手法により、地域等における芸術活動促進にむけた課題の検証などを進めている。引き続き、検証をすすめてほしい。</p>

②「地域の特色ある芸術文化活動への取組み・支援」

事業名	
文楽を特色とする 地域魅力創出事業	<p>(事業実績など)</p> <p>①高津子ども文楽・文楽公演 (H28.11.25 大阪市立高津小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：約300人 ・報道実績：新聞等3社 <p>②文楽まちあるきイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：H28.8.27～11.25 (合計5日間・5コース) ・参加者数：約150人 (申込約700人) <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>「まち歩き」は多彩な講師やベテラン技芸員の起用など、文楽の地元だからこそ可能な質の高い催しになった。H27事業の「文楽ゆかりの地マップ」の効果的な活用を検討してほしい。</p>
地域文化事業	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住之江区「第15回人形劇フェスタinすみのえ」 ほか11区で開催 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>支援した各区の事業について、他の関連する文化事業と合わせて、事業効果の検証をすすめてほしい。</p>
文学碑記念の集い 文学碑維持管理	<p>(文学碑記念の集い事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第37回文学碑記念の集い」 (H28.7.2 太平寺) ・参加者数：140人 (初めて参加した人の割合：約60%以上) ・出演者：木下 昌輝・旭堂小二三 (咲くやこの花賞受賞者) <p>(文学碑維持管理事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央区「宇野浩二」「直木三十五」碑の修繕 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>「文学碑記念の集い」については、他の文化事業とリンクするようになったことは評価できる。「文楽ゆかりの地」マップのような文学散歩に使える地図や案内があると、より効果的と思われる。</p>
クラシック音楽 普及促進事業	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にしなりクラシック～モーツァルトの午後 PART2～」 (H28.7.16 大阪フィルハーモニー会館 来場者数 (合計) 約330人) ・大阪フィルハーモニー会館 市民利用割合：対前年比7%増 (※H29.1現在) <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>施設の市民利用のさらなる利用率向上につなげてほしい。</p>
現代芸術振興事業 (プレーカープロジェクト)	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年事業 「作業場あいてます!」・「kioku手芸館 たんす」・「新・福寿荘」・「西成・子どもオーケストラ」 ・ラウンドテーブル「アート×まちづくり 他領域との連携・協働の可能性」 (H29.3.12 大阪府立江之子島文化芸術創造センター) <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>開催地域の人々も参加するアートプロジェクトとして定着している。その成果を西成区外でも共有することが効果的だと考える。</p>